

7月1日

本校独自版

校内研修会 (第2学年 生活科)

「ぐんぐんそだて! みんなのやさい」

今年度4回目の校内授業研。提案して下さった2年生の先生、ありがとうございました。
今回は、藤本勇二先生、2回目の来校です。直接参観してもらって、指導を受けました。

<研究協議より>

課題解決・協働の様子	個の姿
<p>○導入 (前時からの流れでスムーズ) 前時で自分の野菜を見ての気づき ↓ 本時 それを解決していこうという流れ</p> <p>○原因によるチーム分け：困っているところ同士で話をさせると、もっと主体的な姿になったかもしれない。 解決するための動作はたくさんあったが、理由づけ等が少ない ↓ 原因を追及していくと、より話し合いが活発。</p> <p>○具体的道具 (物) の準備 物を準備することにより、やる気につながっていた。 思考が深まった。</p>	<p>A児 「どっちが先に言う?」「~でいい?」 やる気があり、質問もしていた。 協働的であった。</p> <p>B児 話を聞きながら意見を言うことができていた。 物を使って説明することができていた。 自分で比較をして考えていた。(気づき・困ったこと)</p> <p>C児 体を向けて話を聞いている。 みんなと一緒に行動しようとしている。</p> <p>D児 C児に声をかけていた。 ネットの案を聞いて、くきをまきつけようとしていた。 ↓ 他の意見から考えようとしていた。</p> <p>全体人の意見を受け入れる姿が見られた。</p> <p>E児 口数は少ないが、さっと課題を書くなどやる気が見られた。 友だちから問われると、「うん」と反応している。 説明はしないが、自分から進んで支柱をもったり、できることを考えて行動に移しているように見えた。 ホワイトボードに進んでみんなの意見を書いていた。</p>
<p>H児 控えめだが、「次やりたい人おる?」など、話し合いを進めようとしていた。 トマトにひっかからないようにネット・支柱 トマトのかべを作ってみたらいい! 葉...元気になるやつかな?道具をもとに考えていた。 トマトを直してあげたいという思いを持っていた。 ↓ グループでは解決まではいかず... 自分の課題をしっかりともっていた。 チャイムがなって、号令のあとに、片付けまでしようとしていた。</p>	<p>F児 ペアトークではごによごによ言っていたが、発表では一生懸命な姿が見られた。 グループの中心になって話し合いを進めていた。 「○○は、(解決)できていません。」とすることができていた。</p> <p>G児 書く順番を決めるとき、「書きたい!」とすることができていた。 友だちにゆずることのできる優しい姿が見られた。</p>

○授業者から

個の見取りを先生方がしてくださったことで、それぞれの子どもの成長や気づきを知ることができてよかった。

○藤本先生より

見取り

- 子どものよさ、らしい
- 子どもの内面と物語
- 授業者のギフト

場

- モノ・環境
- 教師の意図と子どもの納得
- ルーブリックと考えるための技法

探究

- 日常性（朝の会・話型）
- 個への足場かけと時間
- 学習者としての自立

※めあては、復唱させない方が良い。（生活科・総合的な学習）

☆㊦しよう！（困っていること）

☆㊧んと！（嬉しいこと）

→→→子どものこのような姿に注目していく

☆㊨たえたい（みんなに話したいこと）

『ドーナツ会議』

○今後の研修に向けて

- ・今後も、個の見取りをしっかりとしながら、場合によっては物を準備したり環境を整えたりして、子どもが主体的に学習できるようにしていく。
- ・協働して課題解決をするために、お互いの考えが言い合える人間関係をつくっていくことも大切にする。

